

天童市議会だより

2014
2.1
No.143
TENDO



12月定例会

- 2 議会改革 9
- 3 一般質問 11人
- 8 予算特別委員会 12月補正予算
- 10 討論 7件
- 11 提出された議案と結果
- 12 議会報告・意見交換会
- 14 市民の声・3月定例会の日程（予定）

▲高掬小学校では1月に入ると、獅子踊りの音色が聞こえてきます。3年生が2年生に踊りを伝え、6年生が5年生に和太鼓や笛による演奏の仕方を伝えます。2月7日の引継ぎ会を目標に腕を磨きます。



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

議会や市政の課題について議員同士で討議します。

■議員間討議

議会及び市政に関する課題等について、議員同士による自由な討議を行い、議員同士が課題等に対し共通の認識が得られるように議員間討議を行います。

市長等の執行部からの説明でなく、議員自ら課題等を出し合って討議を行うものです。その中で明らかになった

課題等については、所管の常任委員会等、さらに詳しく事務調査などを行うこともあります。

昨年12月に、①倉津川雨水調整池整備事業における芳賀土地区画整理組合の費用負担について、②新駅設置に対する市民の合意形成について、③山形都市計画からの離脱についての三つの議題が提出されました。

議してきました。

災害発生時には、各議員の個別行動より、議会としての市の災害対策本部に協力していくことが重要との認識で一致しました。

また、東日本大震災時に津波などで被害を受けた多賀城市を視察して、災害時における議員の安否の確認方法や議員の行動マニュアルなどを作成しました。

議会改革特別委員会の開催予定と検討項目

開催予定日	検討する項目
2月12日(水)	* 議会報告・意見交換会の総括について * 議会基本条例について
2月18日(火)	
2月25日(火)	
※開催予定日及び検討する項目は予定です。協議状況によっては変更になることがあります。 ※午前10時開会です。 (2月18日は午前10時30分の予定です) ※一般傍聴席は先着順で20席です。傍聴希望者は、会議開始10分前までに所定の受付をしてから入室してください。また、会議中は休憩時を除き入室退室できませんのでご注意ください。 ※詳しくは、議会事務局までお問合せください。	

これらについて2月5日に議員間討議を行う予定です。

■災害時の議会のあり方

東日本大震災や昨年7月の豪雨・断水など市内での災害発生を経験し、議会として災害発生時のあり方を協

■議会基本条例

議会基本条例(案)に対する意見公募を、昨年12月20日までの約1か月間実施した結果、意見等の提出はありませんでした。昨年11月に行った議会報告・意見交換会で説明したところ、そこでは多数の意見や質問が寄せられました。その回答は、13ページに掲載しています。

議会基本条例は、3月定例会に提案する予定です。

12月定例会

審議日程

平成25年度第6回市議会定例会(12月定例会)は、12月6日から12月20日までの15日間の会期で開かれました。

市長提出の契約議案3件及び人事議案2件については初日の本会議で採決が行われました。そのほか、予算議案8件、条例議案等10件及び請願1件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、12月20日の本会議で採決が行われました。

また、12月20日に委員会提出議案1件が提出され採決が行われました。(採決結果は11ページに掲載してあります。)

月 日	内 容
12. 6(金)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
12.10(火) 12.11(水)	本会議 (市政に対する一般質問)
12.12(木)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査)
12.13(金)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
12.16(月)	予算特別委員会 (付託案件の審査)
12.17(火)	予算特別委員会 (討論、表決)
12.20(金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、12月10日、11日の2日間の日程で、11人の議員が行いました。

芳賀地内の新駅設置構想をはじめ、観光客誘客や市街地の雨水排水対策について、市長や教育長等の見解を求めました。

芳賀新駅

市長の考えている新駅構想は



武田正二議員
第六次天童
市総合計画に
もある新駅構
想だが、市の全額負担で設置
する請願駅である。市長の新
駅設置に対する考えと、意欲
を伺いたい。また、JR東日
本との新駅設置協議におい
て、6項目の条件・要件を全
てクリアしなければならぬ
とあったが、その内容と状況
を伺いたい。

山本市長 新駅予定地に隣接する天童南部地区には、現在約8000人が居住しており、今後の居住人口は約1万2000人と見込んでいます。新駅設置に伴い、市民の通勤や通学の利便性向上のほか、来訪者の交通手段としての利用が見込まれる。新駅設置が、地域の発展と地域振興に寄与し、将来にわたってその恩恵を享受できると考えている。

新駅設置協議の中の6項目

については、一つには技術的な要件、二つには輸送上の条件、三つには新駅収支条件、四つには建設費用の負担、五つには都市側施設等、六つには地元住民の合意形成である。一つ目から三つ目までの要件は、東日本旅客鉄道株式会社が検討する内容である。四つ目の建設費用については、請願駅となることから、関連費用は市が全額負担することになる。今のところ概算で約6億円を見込んでいます。五つ目の都市側施設等は、新駅西側に駅施設と一体的に駅前交通広場を約2億8000万円の事業費で整備する計画である。六つ目の地元住民の合意形成については、まちづくり懇談会等において、新駅構想を説明しているが、特に大きな反対意見もなく、好意的な意見をいただいているので、事業に対する理解は得られたと判断している。

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★清新会

武田正二議員

- * 新駅設置計画について
- * 災害時の緊急連絡網について
- * 外国人観光客の誘客について

水戸芳美議員

- * スポーツ振興について

矢萩武昭議員

- * 市内の高校及び短期大学との連携・支援等について

山口桂子議員

- * 観光の振興について
- * 夜の街を明るく

鈴木照一議員

- * 小中学生等に対する薬物乱用防止対策の推進と禁煙教育の推進について
- * 市の公共施設での敷地内禁煙の推進について

伊藤護國議員

- * まちの元気創造活動を支えるために
- * 生活の安心を守るために
- * 天童の未来のために

伊藤護國議員

- * 都市計画マスタープランについて
- * 防災拠点施設整備について
- * 上水道の安定供給について

★政和会

松田光也議員

- * 農観商工連携による本市の活性化について
- * 今後の地元商店街の活性化について

★市民クラブ

海鋒孝志議員

- * 観光行政について
- * 芳賀新駅について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

- * 地域農業を守るために
- * 平成25年度の除雪・排雪方針について

伊藤和子議員

- * 一人ひとりの子に行き届いた教育を
- * 市立公民館の果たす役割について

★無党派

茂木孝雄議員

- * 天童市民病院の今後の経営の方向性について
- * 住みやすい・活気溢れるまちづくりについて
- * 芳賀新駅設置について

パークゴルフ

天童パークゴルフ場を 市で管理しては



水戸芳美議員

小原地内の
天童パークゴ
ルフ場川原子

コースは、河川の上野を地元の人たちが少しずつ開拓して県の協力を受け、現在の素晴らしいパークゴルフ場になった。地元で管理しているが、高齢化して維持管理が難しい

状況にある。生涯スポーツの施設として、市が管理する必要があるのでは。

山本市長 現在の天童パークゴルフ場の整備については、平成4年から地元の皆さんが県に要望し、整備が図られてきたものである。開発当初からこれまでの地元の方の環境整備や管理運営に対し深く感

謝申し上げたい。

平成25年4月に、天童パークゴルフ場川原子コースとして、日本パークゴルフ協会の公認を受けてから、利用者が一層増加している。パークゴルフは、誰もが気軽にできるスポーツとして全国的に愛好者が増えている。生涯スポーツに適した種目の一つであるので、今後の施設の管理運営の在り方については、地元の方と話をしながら、河川管理者である県と相談して対応したい。

高校・短大

市内の高校及び短大と 市の連携強化を



矢萩武昭議員

市内には、
天童高等学
校、山形電波

工業高等学校、羽陽学園短期大学の3つの教育機関が配置されている。こうした教育機関と連携強化を図り、市政発展に向けて、幅広く活用するともに、支援策を講ずるべ

きではないか。

水戸部教育長 本市と市内の高等学校及び羽陽学園短期大学との連携については、それぞれの学生から、公民館フェ

ボランティアスタッフとして活動いただいている。また、各校の先生方から、平成26年度に天童市教育振興

基本計画の策定懇話会の委員として、専門的立場から意見をいただき、計画に反映していきたいと考えている。

一方、市内の教育機関への支援策として、今年度、被災地でのボランティア活動に対する補助制度を創設し、支援を行っている。

市内の身近な教育機関との連携は、大変重要なことである。今後、市としてもさまざまな支援をしていくことで、本市全体の総合的発展に結び付けていきたいと考えている。

街路灯

LED化で 夜の街を明るく



山口桂子議員

市の重要政
策で公衆街路
灯・防犯灯等

のLED化によりずいぶん明るくなったところもあるが、まだまだ暗い通学路や歩道がある。市道・県道・国道全ての歩道・道路を点検し、安全・安心のためにも、引き続き増設すべきでないか。商店街の器具のLED化に向け、技術的支援と設置補助はどうか。

足している地域や集落間を結ぶ道路、さらに、事業説明会後に取りまとめた地域からの設置要望箇所などについて、緊急性や必要性を考慮しながら、順次計画的に整備していきたい。

街路灯を設置している商店街と商店会5つのうち、既に2つのLED化が進んでいる。その他3つの商店街については、その所有や照明器具が異なるため、LED化がなかなか進まない状況にある。LEDの技術については、日進月歩であり、数年後には、より安価で高性能な照明器具も出てくると思われる。こうした情報は積極的に収集し、助言を行うとともに、商店街のLED化に向けた取組みに対し、支援を行っていきたい。

山本市長 公衆街路灯のLED化事業については、各町内会に対し事業説明会を実施した。今年度予定していた612灯を上回る835灯の器具交換を11月末で完了した。

さらに、LED灯については、明るく節電効果が高いことから、5か年計画を前倒し、3年での早期整備を図りたいと考えている。今後、安全・安心なまちづくりのため、公衆街路灯の不



▲街路灯のLED化が進む

雨水排水

市街地の 雨水排水対策を



鈴木照一議員
市街地において、側溝未整備箇所が存

在する。近年の異常気象により、同箇所での冠水が確認されているが、いまだ対策がなされていない。今後、雨水浸透柵の設置エリアを拡大するようだが、抜本的な解決が必

要と思われる。下流域への影響も考え、早急な雨水排水対策が必要と考えるがどうか。
山本市長 近年、異常気象により、局所的な集中豪雨により、市街地の道路の一部に冠水が発生している。冠水被害防止の観点から、市街地における雨水排水対策の必要性を認識している。

特に倉津川においては、大雨による増水で水位が上昇し、交り江西公園付近のように市街地からの雨水排水が倉津川へ流入できなくなる状況が見受けられる。市街地の雨水排水対策として、雨水流出の抑制を図ることが、道路冠水を解消する方法の一つである。

現在、地形状況や水路勾配等を確認しながら、雨水の浸透施設や貯留施設を含め、市街地の雨水排水の総合的対策を調査検討し、排水不良の解消に努めていく。

都市計画

都市計画マスタープランの 見直しを



伊藤護國議員
平成42年度を目標とする市都市計画マ

スタープラン案が出された。農村部のコミュニティ形成のためにも、山形広域都市計画からの離脱を検討してはどうか。そして、市街化区域と市街化調整区域との「線引き」を見直すべきである。また、計画期間が長すぎて、社会変化とのズレが生じかねない。計画期間を短縮すべきでないか。

プランにおける、市街化区域と市街化調整区域を区分する「区域区分」、いわゆる「線引き制度」は、昭和45年3月に設定された。その後見直しを行いつつ、今日まで継続している都市計画である。

山本市長 山形広域都市計画における都市計画区域マスタープランは、県が国に協議を行い、その同意を得て県が定めているものである。

本市では、都市計画と農林業との健全な調和を図りながら、開発許可制度の運用と合わせて、都市の健全な発展と秩序ある整備に努めてきた。「線引き制度」は大きな役割を果たしてきたと認識している。

しかしながら、市街化調整区域の一部では、地域コミュニティの維持や地域活性化が課題となつている状況もある。このようなことから、社会経済状況の変化を踏まえた適正な土地利用を図る観点で、今後、「線引き制度」による土地利用の規制・誘導等について、調査研究を行いながら、市域の均衡ある発展に努めていきたい。

産業連携

農観商工業連携による 活性化を



松田光也議員
本市の連携事業の経過を見ると、具体的

な成果が感じられない。具体的な施策が必要ではないか。農業、観光業、商業、工業の連携事業は、市が主体的に行い、事業の活性化と産業の振興を図り、魅力ある地域ブ

ラを創出し、販路拡大と雇用を確保する施策に取り組むべきである。
山本市長 本市の魅力を全国に発信し、地域活性化につなげるには、果物や観光資源、工業製品などのさまざまな「宝」を有機的に連携させ、ストーリー性を持たせながら事業を展開することが重要で

ある。

今年度、天童商工会議所内に、農商工業の代表者に市も加わった農商工業連携委員会が組織され、地域資源のデータベース化とマッチングの推進に取り組んでいる。各産業が総合的に連携し、情報を交換したり、アイデアを出し合ったりする仕掛けが重要である。市としては、異業種交流プラ

ザや農観商工業に関わる団体等の産業間連携による魅力づくり、情報発信について、主体的に取り組みたい。



▲健全な土地利用を図る

市としての、異業種交流プラザや農観商工業に関わる団体等の産業間連携による魅力づくり、情報発信について、主体的に取り組みたい。

市域の均衡ある発展に努めていきたい。

新駅建設

新駅建設のPRと さまざまな活用を



海鋒孝志議員

芳賀の新駅構想は、駅前広場を含め約

9億円掛かり、市が全額負担。いまだ説明不足が否めず、妥当性を問題視する意見が多い。新駅の説明会やまちづくり懇談会での反対意見は少数で、市民の同意は得ているとの説

明だが、PRやさまざまな活用をもっと展開してはどうか。

また、建設にかかる寄付金を募集する考えはないか。

山本市長 芳賀の新駅については、各地域で開催しているまちづくり懇談会や、平成24年7月に開催した市民説明会の場において、新駅構想とその必要性の説明を行った。新

駅設置に対する期待の温度差はあるものの、特に大きな反対意見もなく、好意的な意見を多くいただいているので、事業に対する理解を得られたと判断している。

鉄道駅の新設で、公共交通による本市へのアクセスが一層高まる状況など、本市のまちづくりの魅力を発信していきたい。また、この新駅建設について、市民の皆さんから広く寄付を求めることはしない。これまでと同じ形で進めていきたい。

芳賀新駅

新駅設置報道は 議会軽視では



茂木孝雄議員

新駅の利用見通しや経済効果等の具体的な合理性を議会に説明すべきである。議会で審議されていない新駅の設置決定発表は、議会軽視である。また、新駅の受益者である芳賀土地区画整理組合が全く負担せず、市

が駅前広場整備費を含めた約9億円を全額負担するのは納得できない。

山本市長 新駅設置については、第六次天童市総合計画に位置づけ、協議の進捗状況に応じて、常任委員会等で説明資料を配布しながら、説明を行ってきたところである。

平成22年8月の要望から約3年の協議期間を要したが、このたび東日本旅客鉄道株式会社において新駅整備の決定をしていただいた。これに伴い平成25年10月4日に、新駅整備に関する基本協定を締結



▲開発が進む芳賀地内

コメ政策

コメ政策見直しによる 影響は



石垣昭一議員

政府は5年後を目標にコメの生産調整

を廃止する方針を決定した。コメ政策は大転換を迎えることになるが、減反の廃止による米価の下落や耕作放棄地の拡大が懸念され、農家の間に不安が広がっている。本市

農業への影響をどう考えているのか伺いたい。

山本市長 長年にわたり国策として取り組んできた米政策及び経営所得安定対策は、わ

が国の農業の発展と食糧供給を支える根幹をなしてきた。この政策が大幅に見直されれば、本市にも大きな影響が出てくると思われる。

耕作条件が不利な地域や小規模農家においては、営農意欲の減退やこれに伴う耕作放棄地の拡大など、さまざまな影響が懸念される。小規模農家の存続は、コミュニティの形成にも多大な役割を果たしている側面もある。よって、地域の裁量による戦略的な交付金を十分活用して、特色ある作目を奨励し、魅力的な産地の確立を図りたい。また、運用の切り替えの際は、関係者へ懇切丁寧に周知し、円滑に移行できるよう配慮したい。

し、同日の午後には記者会見を行い、市内外へ新駅設置の情報を伝達したものである。新駅設置は請願駅となることから、新駅設置に係る関連費用は市が全額負担することになる。その費用は概算で約6億円と見込んでいます。また、新駅の西側に整備する広場については、約2億8000万円の計画である。新駅関連整備の費用対効果の試算を行ったところ、開業後7年目の時点で投資に見合った効果を發揮できる。

特別支援

特別支援学級の指導体制充実を



伊藤和子議員

学校に設置されている特別支援学級の

定数が児童6人に1人の教員配置となっている。十分な指導を行えるかは、子どもの状態により、差異があると思つ。重度の児童にかかりつきりにならざるを得ない状況もある。

現場に合わせた体制が必要と思うが、どんな対応をしているのか。

水戸部教育長 特別支援学級は、国の基準では1学級8名の定員となっているが、県では今年度から1学級6名の定員で運営されている。しかし、一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育を進めるた

めには、それでもかなりの無理が生じているのが現実である。

現在の特別支援学級には、さまざまな障がいを抱えた児童が在籍している。児童生徒の障がいの程度も、その様相も多用で現在の学級定数の範囲では、本来の役割を果たすことが困難な場合もある。

市教育委員会としては、さらに支援体制を充実させていく必要があるものにとらえ、これからの調査研究を重ねていきたい。

東根市外二市一町

共立衛生処理組合議会

各市町の負担金が確定

平成25年11月26日に組合議会が開催され、平成25年度の各市町の負担金が確定しました。

負担金は、均等割、施設規模割、し尿処理量割（平成24年度実績）、ごみ処理総量割（平成24年度実績）、証紙事業（ごみ袋代等）などで決定します。

平成25年度構成市町負担金確定額

(単位:千円、%)

市町名	H25年度	H24年度	前年比
天童市	293,516	288,214	101.8
東根市	230,049	228,545	100.7
村山市	122,125	120,327	101.5
河北町	101,941	103,205	98.8
合計	747,631	740,291	101.0

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員の滝口順一氏（泉町一丁目）が平成26年3月13日をもって任期満了となることに伴い、同氏を再び選任することに同意しました。（任期は3年）

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員の奥山泰子氏（干布）が平成26年3月31日をもって任期満了となることに伴い、同氏を再び推薦することに同意しました。（任期は3年）

議会のうごき

■10月

- 16日 総務教育常任委員会研修会
- 17日 広報委員会、市長要請総務教育常任委員会（社会教育施設の整備について）、総務教育常任委員会研修会
- 18日 議会改革特別委員会（議会基本条例（案）について外）
- 21日 環境福祉常任委員会研修会、経済建設常任委員会研修会、経済建設常任委員会所管事務調査（休廃止水源地の現状調査外）
- 24日 議会運営委員会、各派代表者会、第5回市議会臨時会
- 28日 議会改革特別委員会行政視察（多賀城市）
- 29日～30日 清新会（会派）研修会参加（大阪）
- 31日 東北市議会議長会理事会（議長、局長／仙台市）、全国高速自動車道市議会協議会理事会（副議長、主幹／東京）

■11月

- 1日 市民クラブ（会派）研修会参加（東京）
- 6日～7日 政和会（会派）先進地視察、企業訪問（那須塩原市、藤岡市、品川区）
- 8日 県市議会議長会議会報研修会（広報委員／新庄市）
- 11日 各派代表者会
- 12日 議員全員協議会（議会報告・意見交換会の運営について）、議会改革特別委員会（議員間討議について外）
- 13日～14日 県市議会議長会総会（議長、副議長、局長／米沢市）
- 15日 各派代表者会
- 18日 議会報告・意見交換会（天童中部・天童北部・荒谷）
- 19日 議会報告・意見交換会（長岡）

- 20日 議会報告・意見交換会（寺津・津山・干布）
- 21日 三市二町正副議長懇談会（議長、副議長、局長／山形市）
- 25日 議会報告・意見交換会（天童南部・成生・高橋）
- 26日 議会改革特別委員会（災害時の議会のあり方について外）、東根市外二市一町共立衛生処理組合議会定例会、議会報告・意見交換会（蔵増・山口）
- 27日 市長要請経済建設常任委員会（天童高原ロッジの整備計画について外）
- 29日 議会運営委員会

■12月

- 6日～20日 第6回市議会定例会
- 6日 広報委員会
- 9日 議会改革特別委員会（議員間討議について外）
- 12日 市長要請総務教育常任委員会（行政経営計画（案）及び同アクションプラン（案）について）、市長要請環境福祉常任委員会（美術品購入について）
- 16日 議員全員協議会（議員間討議について）
- 19日 議会運営委員会
- 20日 広報委員会、市長要請経済建設常任委員会（新駅整備に係る経費対効果等について）
- 24日 議会改革特別委員会（災害時の議会のあり方について外）
- 26日 広報委員会

■1月

- 7日 市長要請総務教育常任委員会（平成25年度駒やかカイゼン運動に係る成果報告について）
- 14日 議会改革特別委員会（議会報告・意見交換会の総括について外）

予算特別委員会

平成25年度一般会計補正予算

3億6174万4000円の増額補正を
賛成多数で可決



一般会計3億6174万4000円を追加する補正予算をはじめ、介護保険特別会計2億9628万6000円を追加するなど、8会計の補正予算は、予算特別委員会に付託されました。補正予算は、予算特別委員会での審査後、本会議において、原案のとおり可決されました。審査の主なものはおりのとおりです。

市庁舎耐震改修等の事業内容は

委員 債務負担行為補正による市庁舎耐震改修等事業の限度額が、約1億円増え、5億5010万円となった。増額理由は。

財政課長 増額の理由は、当初業者の提案で、解体することとしていた1階休憩室及び風除室の増工、また議場の傍聴席の改修のほか、調査により必要になったクラックの補修や防火シャッター等の改修工事による増額である。

視覚障がい者向けの声の広報をCD化

委員 声の広報に要する経費17万5000円の内容は。

市長公室長 声の広報は、「ボランティアサークル」たんぽぽ会」の協力を得て視覚障が

い者向けに、月2回の市報を朗読したカセットテープを作成し、郵送している事業である。カセットテープ機器の老朽化等に伴い、今後、CDに録音して同事業を実施するための費用である。

学校給食を食物アレルギー対応に

委員 学校給食センター施設整備工事費3465万円の内容は。

学校給食センター所長 食物



▲1日約5800食分を調理する学校給食センター

アレルギー調理室用間仕切り工事費327万6000円、蒸気配管及び蒸気ユニットの経年劣化による改修工事費2192万4000円等を予定している。今回の工事によりアレルギー給食専用の調理室を16・5平方メートル確保する。また、空調用のモーターの交換等も計画している。

救急講習等の機械器具を購入

委員 常備消防活動に要する経費の中の機械器具購入費200万5000円の内容は。

消防課長 心肺蘇生法の講習時に使用する訓練用の人形3体、AED3式のほか、ホース等を洗浄するための高圧洗浄機1台、中継用のパネル水槽3基等を計画している。

子育て支援の管理システムを導入

委員 子ども・子育て支援新制度管理システム導入業務委託料871万5000円の内容は。

子育て支援課長 平成27年度から施行される新制度の全国

総合システムと連動するシステムの導入費用である。補助金の申請のほか、保育の必要性の認定もこのシステムにより行うようになる。

パルテ内の学習支援室個別学習机を整備

委員 パルテ内の学習支援室の施設用備品購入費104万3000円の内容は。

生涯学習課長 利用者からの要望により、個別学習ができる机を8台購入するものである。これにより、学習支援室の机の合計は48台となる。



▲昨年5月、パルテ1階にオープンした学習支援室



▲駐輪場の照明もLED化される

安全安心 防犯カメラ設置

委員 防犯施設整備工事費210万円で、防犯カメラを設置するが、どこに設置するか。

生活環境課長 天童駅西口駐輪場に3基、パルテ東側の駐輪場に1基、高嶺駅西口に1基、天童温泉ぎおん小路入口付近に1基設置する。

駐輪場の電灯をLED化に

委員 駐輪場施設整備工事費

147万円の内容は。

生活環境課長 駐輪場照明器具をLED化する工事費である。天童駅東口の40灯、天童駅西口の18灯、乱川駅の8灯、合計で66灯を予定している。

イオン幕張新都心で 天童フェアを開催

委員 天童観光フェア開催業務委託料223万8000円の内容は。

商工観光課長 平成26年1月に、イオンモール幕張新都心で、天童フェアを2日間開催する。当日は、日本将棋連盟からプロ棋士2人を派遣いただくほか、将棋駒組合の将棋駒づくり、日本将棋連盟天童支部、山形県民踊協会、天童温泉協同組合等の関係団体からの協力をいただきながら、天童をPRし、観光誘客の増大を図りたい。

芳賀地内に駅前広場と 公園を整備

委員 芳賀地区の整備に要する経費として、調査測量委託料1210万円の内容は。

都市計画課長 新駅の駅前広

場約4000平方メートルの測量及び設計費と、芳賀土地地区画整理事業地内第1号街区公園の設計料である。

わくわくランドの 足湯の温度管理

委員 わくわくランド施設整備工事費480万円の内容は。

都市計画課長 現在手動で足湯の温度管理を行っている。その足湯の温度を、自動で最適な温度に調整できる管理体制にするための工事費である。

予算特別委員会 正副委員長を互選

12月6日に開催された予算特別委員会において、委員長及び副委員長が互選されました。

委員長 海鋒 孝志
副委員長 水戸 芳美

なお、予算特別委員会は、議長を除く全議員で構成されています。

一般会計補正予算 (第3号)あらし

補正額 3億6174万4000円
予算総額 217億5727万6000円

◆主な内容 (単位:千円)	
駐輪場施設整備工事費	1,470
認可外保育施設すこやか保育事業費補助金	3,460
さくらんぼ高生産性施設整備支援事業費補助金	1,105
天童高原施設の車両購入費	11,865
市営住宅の修繕料	5,000
公園施設整備工事費	14,200
市民プラザ施設整備工事費	3,675
スポーツセンター施設整備工事費	9,240
学校給食センター施設整備工事費	34,650



▲わくわくランドの足湯が自動温度管理に

第5回臨時会

平成25年度第5回市議会臨時会が10月24日に開催され、議案1件が審議され全会一致で可決されました。

▼議第29号 排水ポンプ車の取得について

7月には西部地域で河川の水位が上昇し、水害発生の際に瀕した。

今後、水害を未然に防ぐ体制を整備するため、毎分30立方メートルを排水できる排水ポンプ車を約4620万円で平成26年5月までに取得するもの。

討論

12月20日の本会議において、議案2件と請願1件について5名の議員が討論を行いました。

採決の結果、議案2件についてはそれぞれ賛成多数で原案可決、請願1件については賛成多数で採択となりました。

▼議第30号平成25年度天童市一般会計補正予算(第3号)

〈反対〉赤塚幸一郎議員

審議された補正予算の中で、入札不調に伴う減額と来年度に繰り越す債務負担について、質疑を繰り返したが整合性のある答弁を得ることができなかった。

事業の明細書を請求したところ、今年度に新たな事業を実施することが含まれているのが判明した。補正予算書に何の記載もなく説明もない事業が行われようとしている。チェックを回避するかのような予算には、議員としての使命が果せず賛成できない。

〈反対〉狩野佳和議員

新駅構想は当初から全体計画、総額の説明が一切されず、開業経費が6億円になった。

2000平方メートルの緑地公園は4000平方メートルの駅前広場に変更し、2億8000万円との説明だ。

今回は駅前広場用地の平面測量と縦横断面測量、概略設計、詳細設計をする補正である。

トータル約9億円を投じる新駅事業は、一部の利益になるが、大多数の市民の福祉の向上には、はるかに遠い。

〈反対〉伊藤和子議員

平成24年度の補正予算の特別措置として国は、地域の元氣臨時交付金を創設した。芳賀地区広場整備事業まで対象になっている。取り扱い方に矛盾を感じる。

新駅広場の平面測量、縦横断面測量を市でやる必要性はなく、新駅広場は芳賀土地区画整理組合で保留地を準備すべき。新駅に関しては、ことごとく事後報告に徹しているのは問題である。

▼議第50号倉津川雨水排水調整池整備事業用地の取得について

〈反対〉狩野佳和議員

平成24年5月に急遽降って湧いた、芳賀地区の調整池問題は、芳賀地区外に約2・7畝の土地を購入し、東芳賀地域21畝と芳賀地区の68畝の調整池を一緒に造る計画である。

芳賀地区の調整池は、元々の芳賀地区内に組合が造るべき。市は東芳賀21畝の雨水排水対策の調整池のみ造るべきで、今回購入予定の土地は不要である。

〈反対〉伊藤和子議員

芳賀土地区画整理地内の調整池を東芳賀地域の雨水と合わせて、芳賀土地区画整理地の外に出し、市が施工するとして、調査設計した土地。

工事費の負担のあり方は、芳賀土地区画整理組合の事業計画にも影響するもので、外出しの話が出た時点で、協議しておくべき問題だ。基本的なことも決めずに、事業を進めることに異議がある。

▼請陳第5号新聞の軽減税率に関する意見書提出を求めらる請願

〈反対〉石垣昭一議員

新聞には「権力の監視」というジャーナリズム本来の役割があるはず。しかし、大手新聞社・マスコミは、政府の方針を積極的に宣伝し、世論を誘導する役割を果たしてきたのではないか。

今、消費税軽減税率率のあり方が論じられている中、新聞だけに特化して軽減税率を適用してほしいという意見書は出すべきではない。

〈賛成〉松田光也議員

国民が正しい判断を下すには、政治や経済、社会など、様々な分野の情報を手軽に入手できる環境が重要である。

欧州各国では、知識には最低の税率となっている。我が国では、若者の活字離れによって、読解力の低下が懸念される。新聞の課税強化は、日本の誇れる文化力や国際競争力の衰退になる。新聞の軽減税率適用の請願は当然である。

意見書の提出

12月20日に総務教育常任委員会から提出された意見書提出議案が、賛成多数で可決され、意見書は直ちに関係機関に送付されました。

●新聞の消費税軽減税率に関する意見書(要約)

新聞は、国の内外の出来事や情報を正確に報道し、多様な意見を広く国民に提供することによって、民主主義社会の健全な発展と国民生活の向上に大きく寄与しています。

民主主義の主役は国民であり、その国民が正しい判断を下すには、さまざまな分野の情報を手軽に入手できる環境が重要です。

知識への課税強化は確実に「国のちから」の低下をもたらす。わが国の国際競争力を衰退させる恐れがあります。

よって、新聞への消費税軽減税率適用の実現を強く要望します。

提出先 内閣総理大臣、財務大臣

提出された議案と結果

第6回定例会（12月6日～20日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
議第30号	平成25年度天童市一般会計補正予算（第3号）	原案可決 （賛成多数）
議第31号	平成25年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決 （全会一致）
議第32号	平成25年度天童市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決 （全会一致）
議第33号	平成25年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決 （全会一致）
議第34号	平成25年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 （全会一致）
議第35号	平成25年度天童市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
議第36号	平成25年度天童市民病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
議第37号	平成25年度天童市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
議第38号	天童市水道給水条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
議第39号	天童市下水道条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
議第40号	天童市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
議第41号	天童市立学校設置条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
議第42号	天童市社会教育委員に関する条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
議第43号	天童市火災予防条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）

議案番号	件名	結果
議第44号	天童市子育て支援施設整備事業新築主体工事請負契約の締結について	原案可決 （全会一致）
議第45号	天童市子育て支援施設整備事業新築機械設備工事請負契約の締結について	原案可決 （全会一致）
議第46号	原崎橋橋梁架替工事請負契約の一部変更について	原案可決 （全会一致）
議第47号	天童市天童高原施設及び天童市放牧場の指定管理者の指定について	原案可決 （全会一致）
議第48号	天童市市営住宅の指定管理者の指定について	原案可決 （全会一致）
議第49号	市道の認定及び廃止について	原案可決 （全会一致）
議第50号	倉津川雨水排水調整池整備事業用地の取得について	原案可決 （賛成多数）
議第51号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 （全会一致）
議第52号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意 （全会一致）

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第5号	新聞の消費税軽減税率に関する意見書の提出について	原案可決 （賛成多数）

第5回臨時会（10月24日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
議第29号	排水ポンプ車の取得について	原案可決 （全会一致）

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの）

議案	議席番号																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
氏名	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	茂木孝雄	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	矢萩武昭	山口桂子	海鋒孝志	木村竹虎	赤塚幸二郎	結城義巳	後藤和信	山崎諭	石垣昭一	鈴木照一	伊藤護國	水戸保	浅井健一	伊藤和子	小松善雄
会派	清	清	清	無	清	市	政	清	清	市	政	市	政	政	清	共	清	清	清	政	共	無
議第30号 平成25年度天童市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
議第50号 倉津川雨水排水調整池整備事業用地の取得について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
委員会提出議案第5号 新聞の消費税軽減税率に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
請陳第5号 新聞の軽減税率に関する意見書提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議

※ ○＝賛成、×＝反対、議＝議長（議長は採決に加わらない）

※ 会派：清＝清新会、政＝政和会、市＝市民クラブ、共＝日本共産党天童市議団、無＝会派に属さない議員

議会報告・意見交換会

3回目となる議会報告・意見交換会を、昨年11月18日から26日にかけて市内12か所の市立公民館で開催し、約170名の参加者がありました。参加していただきました市民の皆様へ感謝申し上げます。各会場で出されました議会・議員に対するご意見やご要望、また議会基本条例(案)に対するご意見に対しては、議会改革特別委員会で議会としての対応を協議しました。(次ページに掲載)

また、市政に対する意見・要望については、アンケートに記載されていた項目を含め整理して、所管する各常任委員会で検討するとともに、2月上旬に議長から市長に文書で提出する予定です。

なお、各会場の報告書(簡易な会議録)については、準備ができ次第、当該市立公民館に送付するとともに、ホームページに掲載いたします。

天童中部・寺津・山口

担当議員

寺津と山口では、地域に密着した意見が目立ち、断水に関する意見は、3会場で出された。

現在、制定に向けて作業を進めている「議会基本条例」は、市民にとって議会が騒ぐほどの緊急性と重要性はなかったようだ。

参加者が少なかったのは、告知方法と開催曜日や時間等に問題があるようで、進



行方法も含めて検討していく必要性がある。

浅井健一、鈴木照一、矢萩武昭、松田光也、村山俊雄、水戸芳美

天童南部・津山・荒谷

担当議員

3会場を担当したが、全体に参加者が少なく残念でした。原因については、今後十分に検討しなければなりません。

参加者の発言は、厳しい中にも市政や議会に対する熱い思いが感じられた。

特に議員定数・報酬については、市民皆さんからご理解が得られていないと感じられた。議会として、もっ

と説明する方策を考えなければならぬ。

伊藤護國、山崎諭、結城義巳、狩野佳和、遠藤敬知



高掬・長岡・干布

担当議員

参加したくなる議会報告・意見交換会にするためにどうするのが今後の課題。報告の内容も市民が知りたい点、特に賛否が分かれたものの説明などに絞っても良いのではないかと、意見交換のやり方の工夫や時間の確保も要検討。

議会基本条例についての意見があまり出なかったが、条例制定以前に、議員・議

会の役割を実践する姿を示すべきとの意見があった。

伊藤和子、木村竹虎、海鋒孝志、山口桂子、茂木孝雄

天童北部・成生・蔵増

担当議員

各会場とも町内会等の役員の方の参加が多く、市長が出席する「まちづくり懇談会」で出された意見等を再度話されることもあったが、議会には執行する権限がないためか、思ったほど地域の要望は少なかった。

しかし、納得できない事業等に関しては「議員としてどのように考えているのか」と各議員が詰問される

場面もあり、活発な意見交換となった。

水戸保、石垣昭一、後藤和信、赤塚幸一郎、武田正二



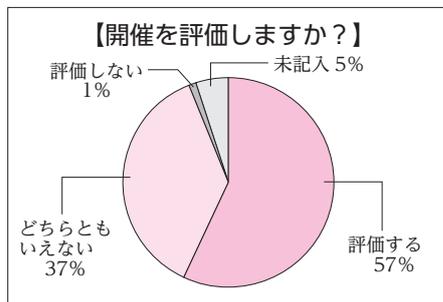
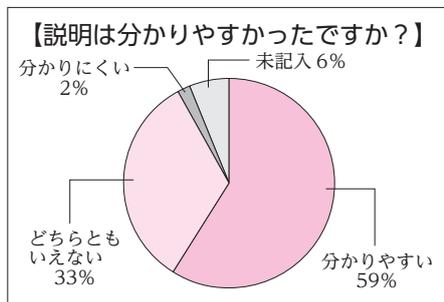
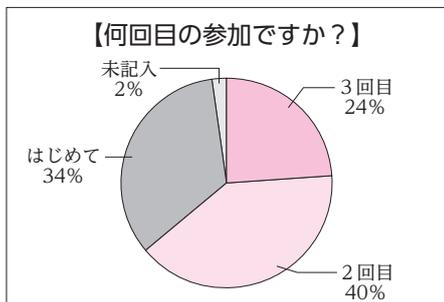
議会・議員に対する意見・要望等	議会としての対応
議員定数、議員報酬の削減。期末手当の恒常的な削減。	議会として議論を継続していきます。
議会中にペンも持たず、居眠りしている議員もいる。眠ければ休憩を取ってやってほしい。	注意します。
傍聴する際に、氏名等の記入は必要なのか。	規則で決まっている事項なので、ご理解をお願いします。
傍聴者が少ない。	傍聴席の環境整備を行う予定です。
委員会での傍聴者の入退室を自由にしてほしい。	静粛な審議環境の確保が必要です。しかし、状況（トイレ等）に応じて退室については配慮していきます。
一般質問で非常勤職員に対する不適切な発言があった。	注意します。
一般質問する議員に偏りがある。選挙前に回数を公表してはどうか。	一般質問については、定例会ごとに議会だよりに掲載しております。
議会だよりに一般質問の1項目しか出ていない。	広報委員会で検討します。
インターネットの画像が粗く見にくい。録画配信をすぐにやってほしい。東根市の方が検索しやすい。	インターネット配信はアナログカメラで撮影されておりデジタル放送と比べると画像が粗くなります。録画配信は、概ね1週間をめぐりに行っています。システムが異なるため議員による検索ができません。今後システムを変更する場合に検討していきます。
傍聴席下のトイレの水がまづかった。	議会開催前に確認します。なお、傍聴席の環境整備に伴い、当該トイレは廃止する予定です。
ペットのフンの対策をしてほしい。	環境福祉常任委員会で調査検討します。
独自水源が必要だと思うが。議会ではどう考えるのか。	
土地開発が高揃、南部地域に偏っていると思うが、議会としてどう考えているのか。	経済建設常任委員会で調査検討します。
議会報告・意見交換会について	議会としての対応
参加者が少ない。その対応は？地元（自治会、地域づくり委員会）、市立公民館との連携が必要なのではないか？	次回開催に向けて、議会として検討していきます。
意見交換の時間を長くするべき。	
1人で長く質問する人がいる。考えて進行してほしい。	
議員の話が長い。	
地元議員が参加するべき。地元議員との懇談会を開催してほしい。	

議会基本条例（案）に対する質問・意見等について		
当日会場で出された質問・意見に加えてアンケートに記載されていた質問・意見等に対する議会としての回答です。		
条項	質問・意見等	議会としての回答
前文 第1条	条例を作ることによる議員のメリット、市民のメリットは何か？（天童北部）	近年、地方分権が進み地方自治体（市）の権限と責任が強化されています。それに伴って、議会の能力強化も求められています。議会及び議員の役割、責務、活動原則を明確にして、議会に市民の声を反映させ、議会を活性化するために条例を制定するものです。
	なぜ今、条例化が必要なのか？もっと前から必要だったのではないのか？今まで行っていないのか？（天童南部・山口・高揃・荒谷）	
第4条 第3項	議員間相互の自由な討議とはどのようなことを想定しているのか？（天童南部）	議会及び市政の課題等について、議員が互いに尊重しつつ、共通の認識が得られるように、自由かつ十分な議論の場を設けるものです。
第5条	副議長の責務を追加してはどうか？（山口）	副議長は、議長に事故ある場合に議長職を行うための職務であり、副議長の責務についての規定は必要ないと考えます。
第8条 第2項	反論権まで議論をしたのか？（成生）	議論は行ったが、反論の程度や市長との対立をイメージさせるなどの課題があり、質問の内容について疑義を質することができるものとしたものです。
第9条	どのように運用していくのか？（成生）	市長等が提案する重要な政策等について、議会審議に必要な資料を求めるものです。資料の必要性については、議会運営委員会等で判断することになります。
	誰が重要だと決めるのか？（長岡）	
その他	会派について、なぜ規定していないのか？（成生）	会派は、議員による自主的な政策集団ですので、条例化はなじまないと考えます。
	山形市の基本条例にはあったが、議員定数・報酬、政務活動費についての規定がないか？（千布）	議員定数・報酬、政務活動費については、それぞれ既に条例がありますので、議会基本条例に規定する必要はないと考えます。
	条例に議会・議員の役割が書いてあるが市民にどうやって知らせるのか？（千布）	議会だより、ホームページ及び議会報告会などでお知らせします。
	条例に反した場合の処罰規定がないようだが？（荒谷）	議会のあり方、議員の活動原則などについて明文化したもので、罰則規定は設けていません。議員は4年に1度の選挙で市民からの審判を受けることとなります。

アンケート

アンケート回収																			
市 内															市 外	未 記 入	合 計 A	(参加者) B	(回収率%) A/B
天童南部	天童中部	天童北部	成 生	蔵 増	寺 津	津 山	山 口	田 麦 野	高 揃	長 岡	千 布	荒 谷	未 記 入	計					
7	8	8	10	15	5	6	21	1	27	3	5	7	7	130	1	4	135	170	79.4

※参加者数は議員の報告書より。



市民の声

私の住んでいる所は、昨年の7月だけでも倉津川増水のため、3回ほど倉津川との水門を閉めなければなりませんでした。水害を防ぐために、市や県にお願いしている経過がある

ことから、議会に興味を持ち、傍聴へ行きました。

議会棟の傍聴席に行くと、あまりの傍聴者の少なさに驚きました。市長や議員は、私たちが選んだのだから、もっと市民も関心を持つべきだと思います。

議会報告・意見交換会のことですが、平成24年10月から始まり、昨年11月で3回目の開催となりました。回を追うごとに参加者が少なくなっていると思います。議会では話し合われています。市民は議会だよ

議会に関心を

結城喜代雄(64歳・高野辺)

りで見ていると思うので、報告よりは各地区で困っていることや要望などにテーマを絞った意見交換会を開けば、大勢参加するのではないでしようか。

昨年7月の参院選から、投票所数大幅に減少し、27か所になりました。投票所数が減っても、投票率は

それほど下がらなかったそうです。期日前投票所の増設等により、投票しやすくなり、若い人たちの投票率が上がったためではないかと思われま。数年前に、市選挙管理委員会に照会したところ、20、30歳代の投票率は3割台とのこと。今はどうでしょうか。年配者の投票率はどうか。天童市を住みよいまちにしていくため、議会への関心を高め、選挙に参加していきましよう。

「若者が政治参加で国守る」

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は1件で、所管常任委員会で審査したあと、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
新聞の軽減税率に関する意見書提出を求める請願	山形新聞天童北部専売所 高橋 勝義 山新販売(株)天童中央営業所 川田 一宏 山新販売(株)天童南営業所 半田 博 読売センター天童北部 齋藤太紀雄 読売センター天童南 水戸 孝博 (株)朝日蔵王ASA天童 鈴木 和嗣 毎日新聞天童販売所 辻 正雄	総務教育	採択 (賛成多数)

(議員の賛否は11ページに掲載してあります。)

3月定例会の日程(予定)

- 2月28日(金) 本会議 (初日)
- 3月4日(火) 本会議 (一般質問)
- 5日(水) 本会議 (一般質問)
- 6日(木) 常任委員会
- 7日(金) 常任委員会
- 10日(月) 常任委員会
- 11日(火) 予算特別委員会
- 12日(水) 予算特別委員会
- 13日(木) 予算特別委員会
- 14日(金) 予算特別委員会
- 17日(月) 予算特別委員会
- 20日(木) 本会議 (最終日)

※請願の締め切りは、2月20日(木)正午までの予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

●「議会報告・意見交換会」は、第1回目が中学校区ごとの4か所での開催でしたが、昨年4月と11月には会場を増やし、小学校区ごと12か所での実施となりました。「議会報告・意見交換会」は、今後も実施しますので、市民の皆様の参加をお願いします。

●市議会のホームページでは、インターネットによる本会議の生中継や録画映像を配信しています。是非ご覧ください。

●本年も、午年(うま)に「議会だより」を「ウマ」く作成し、市民の皆様により見やすく、分かりやすく、親しまれるよう取り組んでまいります。ご提言、ご感想をお寄せください。

「広報委員会」

- 委員長 武田 正二
- 副委員長 水戸 芳美
- 委員 伊藤 和子
- 後藤 和信
- 山口 桂子
- 狩野 佳和

